

「自己評価」(市内共通項目)評価書

朝霞第(九小)学校 氏名(教職員集計)

柱	No	評 価 項 目	評 価				評価及び改善策として考えられること
			A	B	C	D	
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	○				○全教職員が、校長の構想を理解・共有し、同じ方向を向いて取り組んでいる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)		○			○学年、担任だけの関わりにならないよう、管理職を含めた複数の教員で、授業、学級経営を支援する。または、校内巡視を行い、各教職員にフィードバックをする機会、システムをつくる。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。		○			○学校だけで学力向上を目指すのは難しいため、保護者の協力が必要である。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	○				○学力向上の取組が功を奏し、成果がみられている。 ○校内研修を軸にICTを活用した授業改善に努めている。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。		○			○全体としては、落ち着きがみられるようになってきている。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。		○			○生徒指導部を中心に各先生方が連携して取り組んでいる。 ○規律ある行動を身に付けるために、職員全員で規律を守るように指導をしていく必要がある。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。		○			○児童は授業中のみならず、外遊びを活発に行っている。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	○				○体育部・特活部主導によるボール投げ・鉄棒教室や外遊び(若葉班スペシャル等)の取組を計画的に進めている。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。		○			○学校だより・学年だより・tetoru配信などの発信や学校公開期間の設定などで、保護者地域との連携を進めている。もっと連携していくことで、保護者の学校理解も深まる。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。		○			○学校・保護者連絡会を主体とした従来の活動に加え、カインズ協力の栽培員会活動「ナインズグリーンガーデン」やカインズ及びJAあさか野や近隣農家協力の2年生生活科のサツマイモ栽培、ハッピースマイル協力の読み聞かせ活動など、協力・活動の幅を広げている。

(注)

○それぞれの質問に対し、児童生徒、保護者や地域、学校全般を振り返り総合的に評価。

A:よくあてはまる B:ほぼあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない